

北海道ふるさと会連合会会報



2012年

記念号

No.30

発行者 北海道ふるさと会連合会
編集 広報部 会
発行日 平成24年12月1日

事務局 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 (北海道東京事務所) TEL・FAX 03-3592-0122

E-mail : hokkaido-furusatokai@bz04.plala.or.jp



かみゆうべつ チューリップ公園

昭和32年春、旧上湧別町内の農家によるチューリップ耕作組合で、「チューリップで夢を見よう!」を合い言葉に、外貨獲得の大きな期待を担って栽培が開始され、熱心な栽培努力によって、昭和35年にはチューリップの生産量・輸出量共に全道一となりました。

しかし、オランダの球根が世界市場で値下げされ、日本からの輸出が困難となり、町内のチューリップ栽培は年々衰退していきました。

その後、生産農家が畑の片隅や庭で細々と栽培を続ける中、「かつて町の農家に活気をもたらしたチューリップを後生に残そう」という思いで、上湧別老人クラブ連合会が立ち上がり、昭和50年、国道沿いに「老人農園」としてチューリップの植え付けを行ったところ、道沿いに広がるチューリップ畑が、車で通過する町外の人たちから注目され、自然に人々が集まるようになりました。

これをきっかけに、本格的に町花としてのチューリップを町のシンボルにし、昭和60年に「チューリップ園」と改名、昭和62年には展望台を兼ねた「オランダ風車型管理棟」を整備し、昭和63年には、正式に町立の「チューリップ公園」として指定されました。

オホーツクに遅い春が訪れる5月上旬から6月上旬まで、公園ではチューリップフェアが開催され、掘り取り販売や球根の予約販売など、多彩な催しも行われ、毎年、10万人前後の観光客で賑わいます。

(湧別町HP「かみゆうべつチューリップ公園・公園の歴史から」)